

|  |   |      |                 |   |   |          |     |    |
|--|---|------|-----------------|---|---|----------|-----|----|
| 授業科目   | 栄養教育論実習Ⅱ (Bクラス)   |      |                 |   | 単位  | 1        |     |    |
| 履修   | 選択  | 関連資格 | 栄養士 管理栄養士 栄教一種免 |   | ナンバリング                                    | NT22104J |     |    |
| 開講年次   | 3   | 開講時期 | 後期              | 該当DP  | DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1 |          |     |    |
| 担当教員   | 森山 美加代  |      |                 |   |   |          |     |    |
| 授業概要   | <p>【実務家教員担当科目】</p> <p>栄養問題が多様化、複雑化する中で個人に対する栄養管理の重要性は広く認められるようになった。そのため、臨床では栄養ケア・マネジメントや栄養管理プロセスが導入され、実践されている。特に、個人栄養教育を行う中で、対象者の食生活の状況やその背景といった様々な情報から問題点を整理し、栄養診断を行うことが、その後の患者やクライアントの個々の特性を生かした個別の栄養管理(目標設定や栄養教育)に大きな意味を持つ。</p> <p>本科目では、実務家教員として20年以上に亘る実務経験(病院における個人・集団栄養教育、特定保健指導、障がい者を対象とした栄養管理)に従事した経験をもとに、栄養管理プロセスについて解説し、その一連の流れを実践することにより臨床における栄養教育に求められる基本的なスキル修得を目的とする。さらに、傷病者に対する食事療法を支援する集団栄養教育の模擬指導を行い、臨床における栄養教育マネジメントの実際について学ぶ。</p> |      |                 |   |   |          |     |    |
| 学生が達成すべき行動目標                                   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養教育のマネジメントサイクルを説明・実践することができる。</li> <li>2. 病態、食事療法について理解し、目的に沿ったアセスメント項目を選択、アセスメントを実施、課題を特定、目標設定を行うことができる。</li> <li>3. 対象者へ目標を達成するための適切な栄養教育プログラム案を立案できる。</li> <li>4. 栄養教育に必要なとされるカウンセリングを実施することができる。</li> <li>5. ロールプレイングを通して、臨床における個人栄養教育、集団栄養教育の流れを理解することができる。</li> <li>6. グループ学習を通して多職種協働を理解し、コミュニケーションスキルを獲得することができる。</li> </ol>   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 達成度評価  |   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 評価と評価割合／<br>評価方法                               | 試験  | 小テスト | レポート            | 発表(口頭、プレゼンテーション)  | レポート外の提出物                                 | その他      | 合計  | 備考 |
| 総合評価割合   | 0   | 0    | 0               | 70  | 20  | 10       | 100 |    |
| 知識・理解 (DP1-1)                                  |   |      |                 | 5   |   | 10       | 15  |    |
| 知識・理解 (DP1-2)                                  |   |      |                 | 5   | 5   |          | 10  |    |
| 知識・理解 (DP1-3)                                  |   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 知識・理解 (DP1-4)                                  |   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 思考・判断 (DP2-1)                                  |   |      |                 |   | 10  |          | 10  |    |
| 思考・判断 (DP2-2)                                  |   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 関心・意欲 (DP3-1)                                  |   |      |                 | 5   | 5   |          | 10  |    |
| 関心・意欲 (DP3-2)                                  |   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 態度(DP4-1)                                      |   |      |                 | 5   |   |          | 5   |    |
| 態度(DP4-2)                                      |   |      |                 | 10  |   |          | 10  |    |
| 態度 (DP4-3)                                     |   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 技能・表現 (DP5-1)                                  |   |      |                 | 40  |   |          | 40  |    |
| 技能・表現 (DP5-2)                                  |   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 技能・表現 (DP5-3)                                  |   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 具体的な達成の目安                                      |   |      |                 |   |   |          |     |    |
| 理想的レベル   |   |      |                 | 標準的なレベル   |   |          |     |    |
| 標準的なレベル1～6の全てを達成したうえで、本実習以外の対象についても応用することができる。 |   |      |                 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養教育のマネジメントサイクルを説明・実践することができる。</li> <li>2. 病態、食事療法について理解し、目的に沿ったアセスメント項目を選択、アセスメントを実施、課題を特定、目標設定を行うことができる。</li> </ol> |   |          |     |    |

|      |   |         | 3. 対象者へ目標を達成するための適切な栄養教育プログラム案を立案できる。<br>4. 栄養教育に必要とされるカウンセリングを実施することができる。<br>5. ロールプレイングを通して、臨床における個人栄養教育、集団栄養教育の流れを理解することができる。<br>6. グループ学習を通して多職種協働を理解し、コミュニケーションスキルを獲得することができる。 |            |
|------|---|---------|---|------------|
| 授業計画 |   |         |   |            |
| 進行   | テーマ・講義内容  | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習)   | 予習・復習時間(分) |
| 1    | テーマ:オリエンテーション<br>臨床における管理栄養士の専門性と栄養管理に関するマネジメントシステム(NCM・NCP)について解説し、特に重要な栄養状態の評価・判定について、症例を用いて演習する。 | 講義・演習   | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |
| 2    | テーマ:対象者の実態把握 1(身体計測等)<br>身体計測等の指標により得られた結果から、栄養状態の評価・判定、問題点の把握を行う。                                  | 講義・実習   | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |
| 3    | テーマ:対象者の実態把握 2(食事調査)<br>24時間思い出し法による食事調査を行う。  | 講義・実習   | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |
| 4    | テーマ:対象者の実態把握 3(必要量の算定)<br>栄養素等必要量を算定し、身体計測・食事調査・栄養素等必要量等の各種パラメータを総合的にアセスメント(評価・判定)を行う。              | 講義・実習   | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |
| 5    | テーマ:個別栄養教育の問題抽出と計画 1<br>対象者のアセスメント結果から、栄養管理計画(栄養教育含む)を作成する。   | 講義・実習   | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |
| 6    | テーマ:個別栄養教育の問題抽出と計画 2<br>栄養教育に使用する媒体について解説し、各自ロールプレイングに用いる媒体を作成する。                                   | 講義・実習   | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |
| 7    | テーマ:個別栄養教育の問題抽出と計画 3<br>ロールプレイングに用いる媒体作成を進行し、各自シミュレーションを行う。   | 実習      | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |
| 8    | テーマ:個別栄養教育の実施とその評価 1<br>模擬個人栄養教育を体験する(ロールプレイング)。  | 実習      | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |
| 9    | テーマ:個別栄養教育の実施とその評価 2<br>栄養教育実施後のモニタリング、再評価について解説し、栄養ケア記録を完成させる。                                     | 実習      | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |
| 10   | テーマ:臨床における集団栄養教育 1<br>集団(学習者)の栄養の課題を整理し、テーマ設定に基づいた栄養教育計画書と指導案を作成する。                                 | 講義・実習   | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。  | 30<br>60   |

|               |  |       |  |          |
|---------------|--|-------|--|----------|
| 11            | テーマ:臨床における集団栄養教育 2<br>集団栄養教育に使用するプレゼンテーション資料(スライド、リーフレット等)作成のポイントについて解説し、作成する。                 | 講義・実習 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。   | 30<br>60 |
| 12            | テーマ:臨床における集団栄養教育 3<br>集団栄養教育に使用するプレゼンテーション資料(スライド、リーフレット等)を作成する。                               | 講義・実習 | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:これまでの授業全体の復習をする。 | 30<br>60 |
| 13            | テーマ:臨床における集団栄養教育 4<br>模擬集団栄養教育を実践し、グループによる振り返りを行う。   | 実習    | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。   | 30<br>60 |
| 14            | テーマ:臨床における集団栄養教育 5<br>模擬集団栄養教育を実践し、グループによる振り返りを行う  | 実習    | 予習:テーマの予習をし、まとめる。<br>復習:テーマの復習をし、まとめる。   | 30<br>60 |
| 15            | テーマ:臨床における集団栄養教育 6<br>模擬集団栄養教育の実践内容について、グループによる振り返りを行う。  | 講義・演習 | 予習:これまでの授業全体の復習をする。<br>復習:実践内容の振り返りを行う。  | 30<br>30 |
| 16            |  |       |  |          |
| 17            |  |       |  |          |
| 18            |  |       |  |          |
| 19            |  |       |  |          |
| 20            |  |       |  |          |
| 21            |  |       |  |          |
| 22            |  |       |  |          |
| 23            |  |       |  |          |
| 24            |  |       |  |          |
| 25            |  |       |  |          |
| 26            |  |       |  |          |
| 27            |  |       |  |          |
| 28            |  |       |  |          |
| 29            |  |       |  |          |
| 30            |  |       |  |          |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 栄養教育論 1・2、栄養カウンセリング論、臨床栄養管理学、栄養治療学 1・2 を復習し、理解したうえで授業に臨む姿勢が必要です。                               |       |  |          |
| テキスト          | 必要に応じて資料を配布する。<br>ステップアップ臨床栄養学実習 第2版(建帛社)<br>JARD2001 対応栄養アセスメントキット(発売元: Nutrition Assessment) |       |  |          |

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介          | <p>日本栄養士会監修「栄養管理プロセス」(第一出版)</p> <p>丸山千鶴子他編「栄養教育論」(南江堂)</p> <p>赤松利恵・永井成美著「栄養カウンセリング論」(化学同人)</p> <p>日本栄養士会編「管理栄養士・栄養士必携」(第一出版)</p>                                 |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ           | <p>栄養教育を実施するには、これまで学んだ科目を関連づけて対象者の課題を的確に把握し、行動変容できるよう支援する知識・技術が必要です。また対象者に対応する態度も重要となります。栄養カウンセリング論で学んだ内容を基に、ロールプレイングを通して、コミュニケーションスキル、カウンセリングスキルを高めていきましょう。</p> |
| 達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法 | <p>その他では、授業への貢献度、態度を評価します。</p>   |